

2022年11月18日(金)
福井県発達障がい者サポーター養成研修
「県内関係機関の役割」

福井障害者職業センターが行う 発達障害者の就労支援について



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構福井支部

福井障害者職業センター

URL: <http://www.jeed.go.jp/>

本日のお話

- 福井障害者職業センターとは
- 就労を希望する発達障害者の課題
- 発達障害者が利用している当センターの支援
 1. 職業相談・職業評価
 2. 職業準備支援
 3. ジョブコーチ支援
- 支援事例の紹介

福井障害者職業センターとは



住所 福井市光陽2丁目3番32号
(福井県社会福祉センター隣り)
電話 0776-25-3685

- 厚生労働省所管の
独立行政法人が運営。
- 各都道府県に1カ所設置。
(北海道、東京、愛知、大阪、
福岡は支所を設置)
- 障害者、事業主及び
関係機関への支援を実施。

福井障害者職業センターが行う支援

- * 福井障害者職業センターでは、全国の障害者職業センターから集められた障害者雇用に関する情報を共有して、障害者職業カウンセラー、ジョブコーチ、アシスタントが就職に向けた相談や支援、就職後のフォローアップを行っています。
- * 障害者手帳の有無や等級、障害や疾患の種類や程度などに関係なく利用することが可能です。

(ただし、何らかの障害の可能性があると本人が認識しており、障害者職業センターの利用に同意していることが必要です)

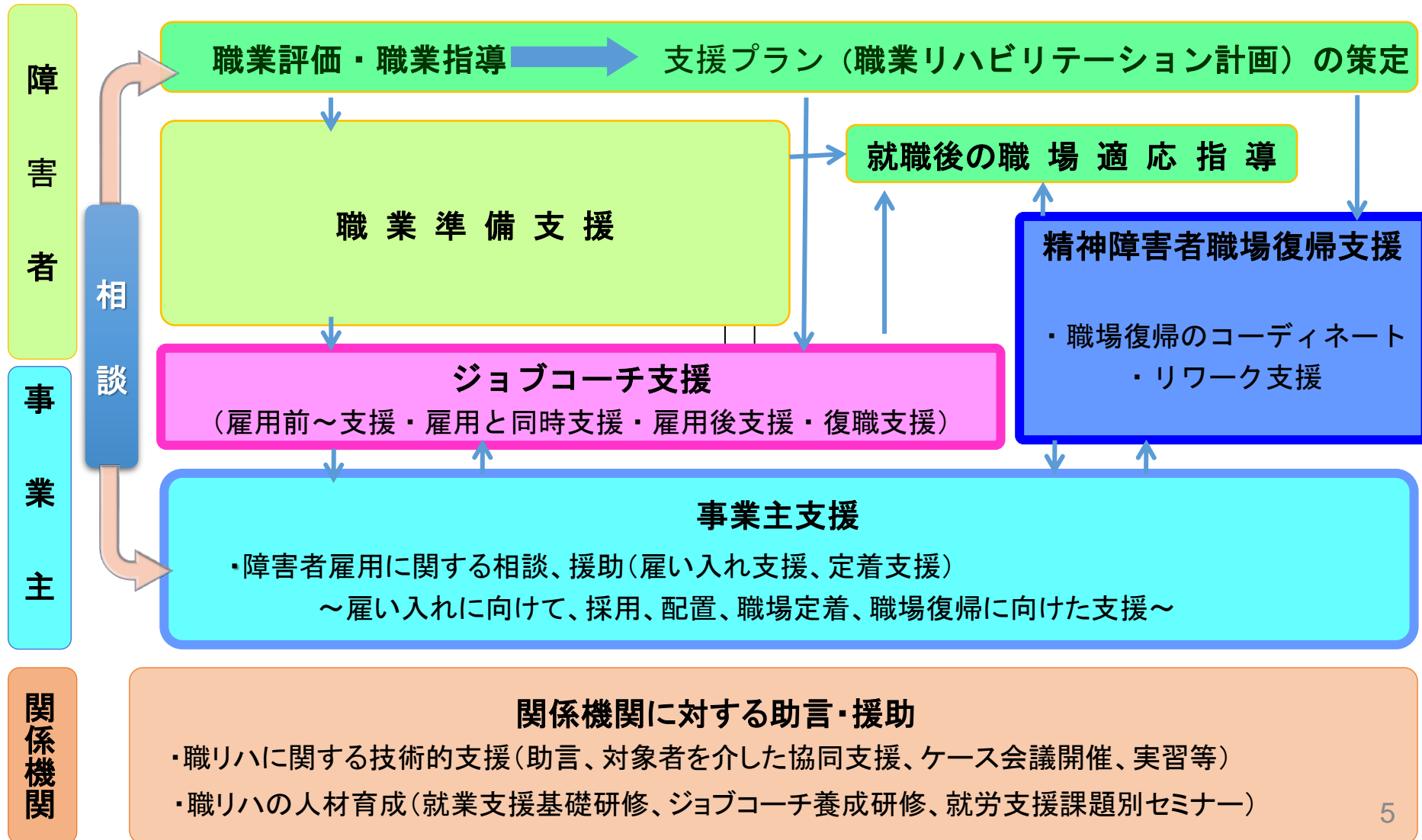


福井障害者職業センターの業務

就職に向けて

働き続けるために

職場復帰に向けて



就労を希望する発達障害者の課題の例

二次障害ですぐの就職は難しいかな…

諸特性に関する適切な理解が得られない



失敗体験の蓄積



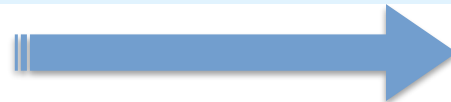
自信・意欲の低下、
情緒不安定等
抑うつ、強迫性障害、
引きこもりなど



職業生活・日常生活上の『生きづらさ』を十分に理解し、特性と環境が一致していない点を探して、自己理解が深まったり、成功体験が積める適切な支援が受けられると良いのだが…

障害特性に関する本人の受け止め方により、職業リハビリテーションサービスなどの支援の利用にためらいがある…

どう仕事を探したら
良いか分からない。
一般求人で就職に結
びつかなかった



「障害」に気づ
いても認めたく
ない気持ち

“一般”へのこだわり
職リハサービスの利用
を受け容れがたい



職業選択において自己（障害）理解は重要だが、「障害に向き合うこと」は自分の存在そのものを否定されるほどに重い意味を持つかも…

発達障害者がよく利用している 障害者職業センターの支援

1. 職業相談・職業評価



2. 職業準備支援



3. ジョブコーチ支援



1. 職業相談・職業評価

- どんな職場や仕事内容だと長く続けられるだろうか？
- どうやって就職（復職）したらいいんだろう。
- 自分の得意な点、苦手な点を整理したい。
- 職場の人間関係で悩んでいるので相談したい。
・・・など



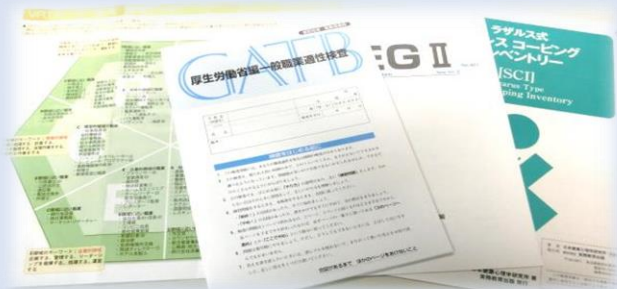
相談や作業・検査をとおして、職業上の強み・弱みを整理していきます。

必要に応じ、職業準備支援の場面を活用した評価（1週間以内）を行うことができます。

※就労の可否や障害の有無を判定するものではありません。

職業評価の例

各種検査



事務作業



身体を使う作業



PC作業

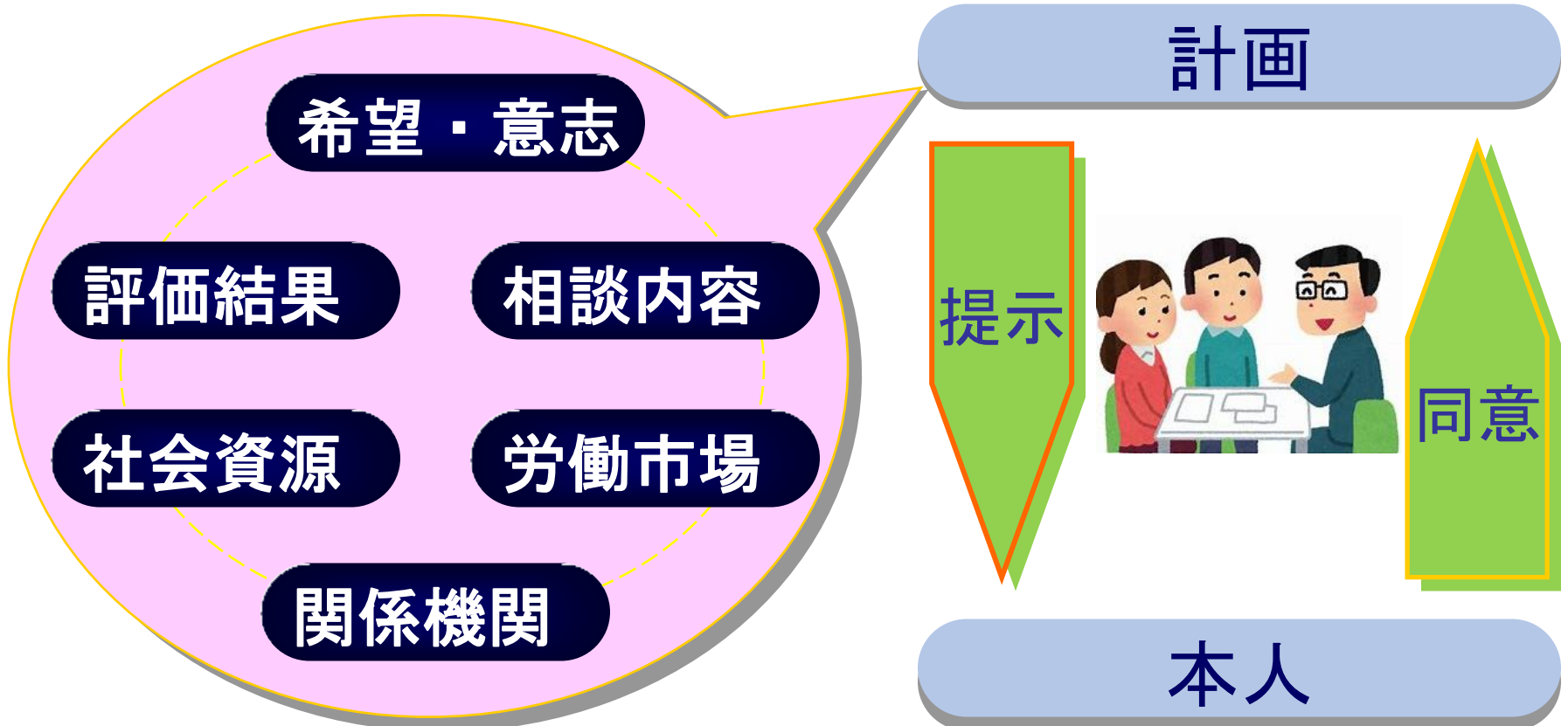


※各作業がどれくらいできるかどうかだけでなく、集中力
正確性・作業速度・作業で現れる疲労やストレスなどの
様々な仕事に関わってくる個人の特性を確認します。

※実施する作業は、その方の希望や状況によって異なります。⁹

職業リハビリテーション計画

職業評価を実施した方に対し、就職に向けた個別支援計画（今後のプラン）を作成し、ご提案します。



2. 職業準備支援

就職や復職に向けて、自分の特徴について理解を深め、必要な対処法を身につける等、就労の準備性を高めることを目的とした支援です。

(発達障害者、精神障害者、高次脳機能障害者の方に多くご利用いただいています)



- ④ 働くための就労リズムを確立したい。
- ④ 仕事を正確に行う方法を習得したい。
- ④ ストレス・疲労をコントロールしながら働きたい。
- ④ 職場でのコミュニケーションのコツをつかみたい。



就職への不安を軽減し、自信をつけていきます。

職業準備支援のスケジュール



※利用期間は12週間以内で個別に設定しています。

就労移行支援事業所と併用した週2-3日程度の講座中心の利用も可能です。

	月	火	水	木	金
9:30 ~ 12:00	個別作業 /個別相談	個別作業/ ストレス講習	マルチタスク (集団ピックアップ) (11時30分終了)	個別作業/ JSTまたはSST	コミュニケーション /ふりかえり
13:30 ~ 15:30	個別作業 /個別相談	マルチタスク (集団ピックアップ)		個別作業/ ジョブリハーサル	個別作業 /ふりかえり /リラクゼーション

職場のコミュニケーション
(JSTまたはSST)



個別相談 (振り返り)



作業課題 (OAワーク)



作業支援の例

実務作業や事務作業など、様々な作業課題に取り組み、自身の適性に合う職務の確認、ミスをなくし正確に行う対処方法の検討、スピードアップに向けた工夫等に取り組みます。

また、講座で学んだ報告や質問、相談のやり方を実践し、職場でのコミュニケーションに自信をつけていきます。

【事務作業】

- ・ 文書入力 / 数値入力
- ・ 作業日報集計 ・ 顧客データ修正
- ・ アンケート入力 など

【実務作業】

- ・ ピッキング作業（個別・マルチタスク）
- ・ 袋詰め ・ 野菜のラップがけ作業
- ・ 部品組立 など



講座の例



【JST】(Job related Skills Training)

- ・ 職場で想定されるコミュニケーション（質問する、報告する、ミス時の対応等）について講義を聞き、具体的なやり方をスタッフの実演を見て学び、実際にロールプレイを行い自信をつけます。

【ナビゲーションブック作成】

- ・ 各種講座や作業場面での振り返り相談を通して、自身の就労上の得意や不得意、職場に配慮してほしいこと等を整理し、面接場面等で活用します。

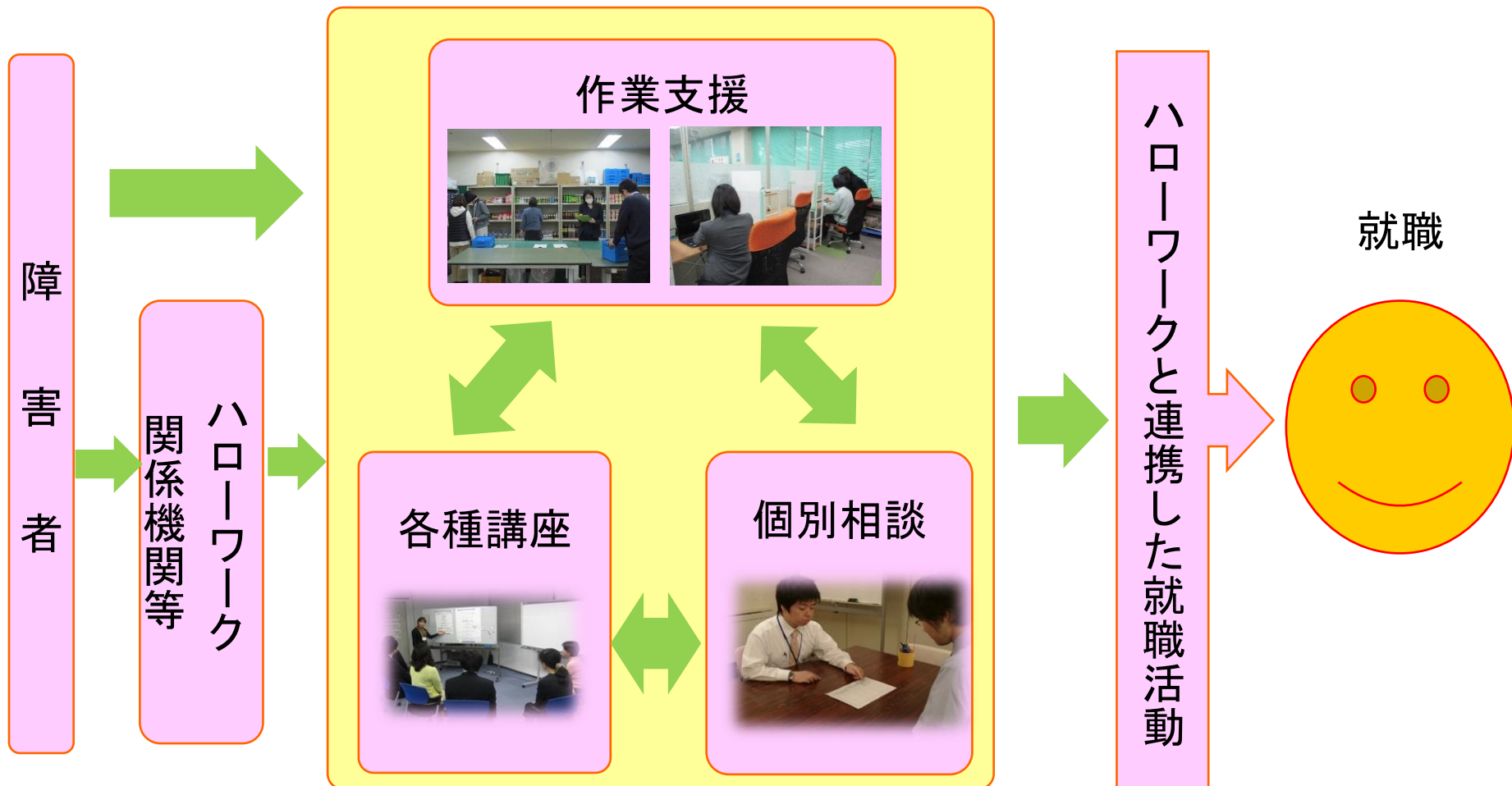
【問題解決技能トレーニング】

- ・ 就労場面で起こった問題の発生状況や原因を把握し、現実的な問題解決が選択できるよう、スキル習得に向けた支援を行います。

ほか【マニュアル作成トレーニング】【リラクゼーション】

【オープン・クローズ講座】【ジョブコーチ講座】等があります。 14

職業準備支援の利用イメージ



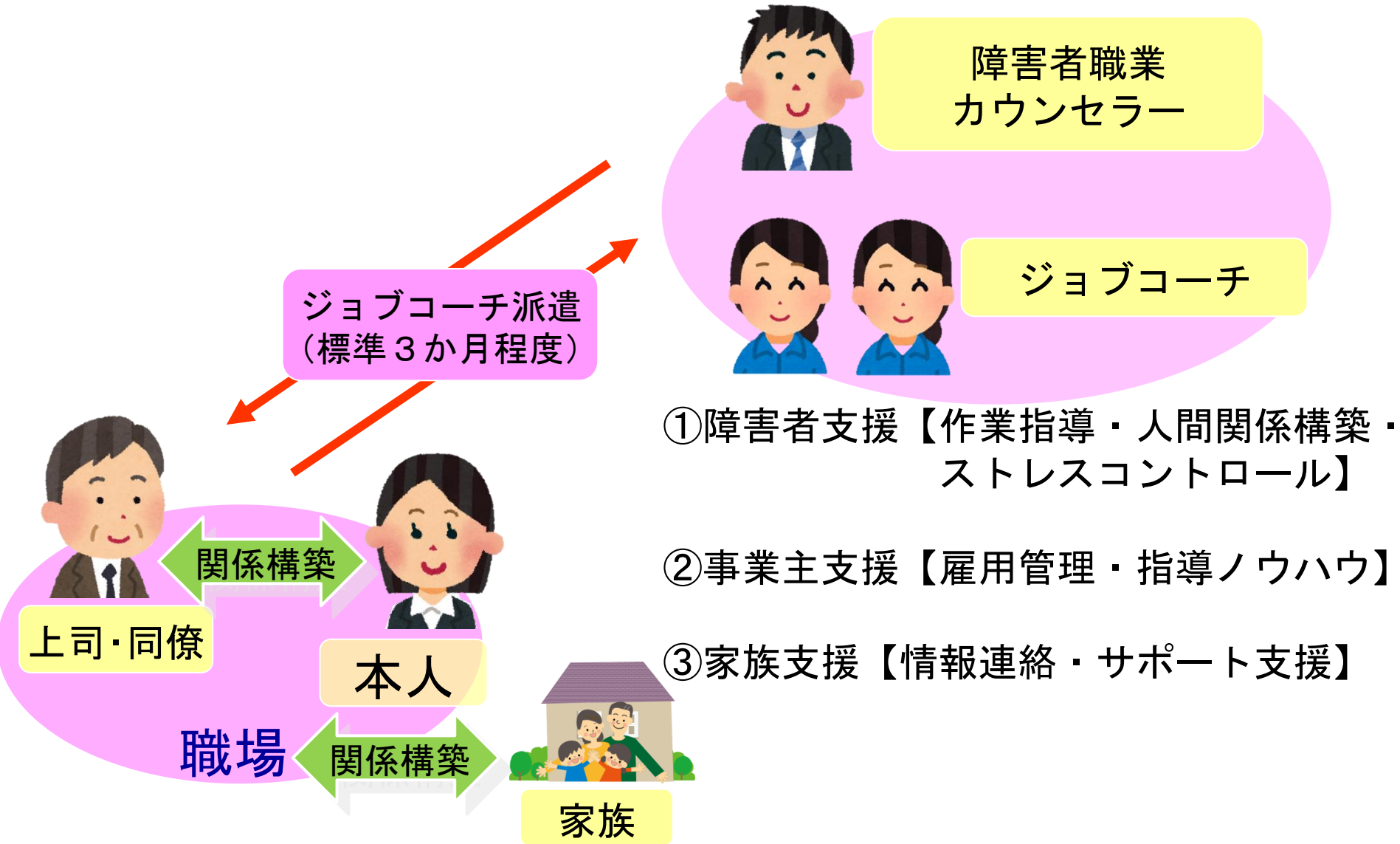
※受講期間は、最長で12週間ですが、受講目的・体調等により、受講内容・期間・時間等を個々に設定します。受講料は無料です。

3. ジョブコーチ支援

- 職場に適応できるよう、ジョブコーチが直接職場に出向いて支援を行います。
- 本人だけでなく、職場に対してもアドバイスをを行い、職場で自然に支援が行われる体制（ナチュラル・サポート）が得られるようになることを目指します。
- 新たに就職する際の支援だけでなく、雇用後の職場適応も支援します。

（発達障害者、精神障害者、高次脳機能障害者の方に多くご利用いただいています）

ジョブコーチ支援の仕組み



ジョブコーチ支援のイメージ



【本人への作業支援】



【本人への相談支援】



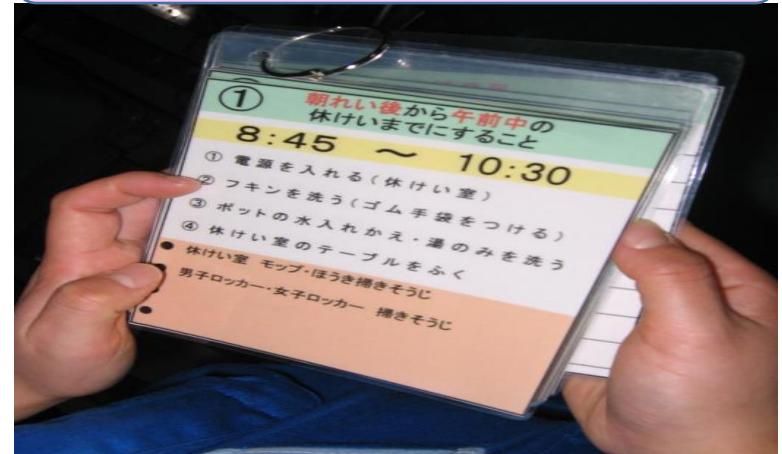
【事業主への支援（ケース会議の様子）】

ジョブコーチ支援で用いるツールの例

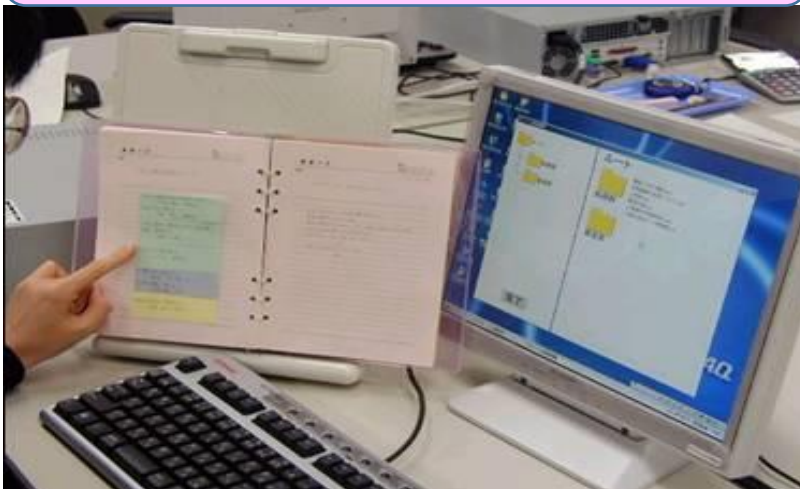
本人、職場、支援機関との
情報共有のための業務日誌

日付	時間	内容	担当者	備考
21	8:00 - 8:30			
21	8:30 - 9:00			
21	9:00 - 9:30			
21	9:30 - 10:00			
21	10:00 - 10:30			
21	10:30 - 11:00			
21	11:00 - 11:30			
21	11:30 - 12:00			
21	12:00 - 12:30			
21	12:30 - 13:00			
21	13:00 - 13:30			
21	13:30 - 14:00			
21	14:00 - 14:30			
21	14:30 - 15:00			
21	15:00 - 15:30			
21	15:30 - 16:00			
21	16:00 - 16:30			
21	16:30 - 17:00			

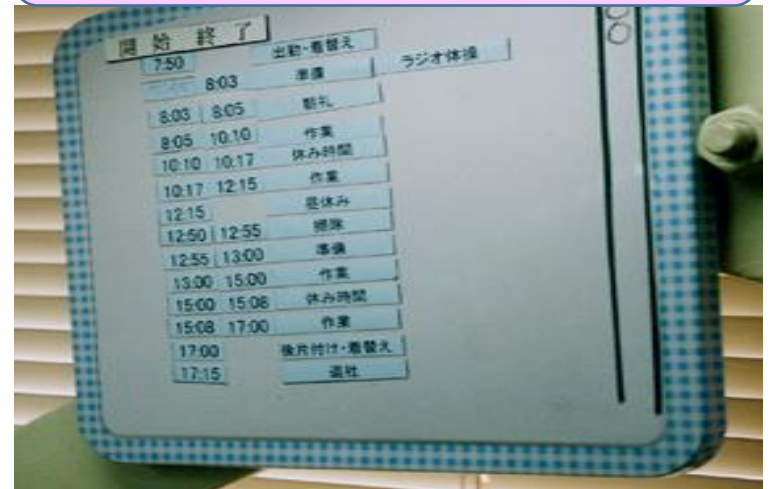
携帯用作業手順書



障害特性に合わせた
作業マニュアル



自発的に行動するための
スケジュールボード



課題を具体的に確認した支援例

- * 課題を、見えるかたち（具体的）にしたり、問題解決の優先順位・方法を、一緒に考えていきます。
- * 作業に関する相談は、会社の方とできるように調整します。

仕事でミスが多いと言われました。
でも、どこをどう直して良いか分からなくて…

どういうミスが出ているか、
上司に聞いてみましたか？

一度にやることを何個か言われると、
焦ってパニックになります。
でもミスの内容は聞いていないですね…

気持ちを落ち着かせて、上司にミスの内容を確認した方が
良さそうですね。確認の仕方を一緒に考えませんか？



ジョブコーチ



ジョブコーチ支援を利用している 発達障害者が従事している仕事の例

サービス・販売

小売店舗品出し&清掃
ベッドメイク&清掃、
老人福祉施設清掃等



事務

一般事務、図書館業務
伝票整理、ファイリング
出納事務、データ入力、
動画編集等



機械洗浄、研磨
製造準備、出荷準備
梱包、ピッキング、清掃
環境整備、洗車等



生産工程 労務



ジョブコーチ支援の流れ



相談受付

当センターのジョブコーチ支援担当カウンセラーにご連絡ください。カウンセラーがご希望や状況等を伺います。

状況確認

カウンセラーが企業等を訪問し、関係者との面談や職場見学を行い、状況を確認します。そのうえでニーズや状況に応じた支援計画書（案）を作成します。

打ち合わせ

カウンセラー、ジョブコーチが企業を訪問し、関係者に支援計画書（案）を提案し、支援開始に向けた打ち合わせを行います。

支援開始

関係者から同意が得られた支援計画に沿って、ジョブコーチ支援を実施します（標準3カ月程度）。

（支援内容、支援期間、支援頻度等は個別に設定します）

フォローアップ

支援期間終了時にカウンセラー、ジョブコーチ、家族や関係者で振り返りを行い、フォローアップ計画を策定します。

（必要に応じ、途中でケース会議を行う場合もあります）

企業のニーズに応じて、体系的な事業主支援を計画することも可能です。

ジョブコーチ
支援



一般社員
向け研修

他社事例
の紹介

職務設計
の助言

etc.

お気軽に
ご相談
ください



支援事例の紹介

(いくつかの事例を集め、特定されないよう一部を改変した事例)



Aさん 20代男性。アルバイト含め就労経験なし。大学在学時に自閉症スペクトラムとADHDとの診断を受ける。卒業後、就労移行支援事業所に通所。

相談支援事業所が就労移行支援事業所に職業センターへの相談を提案。

職業評価で把握した特性：

(長所) まじめ。明るく素直。ピッキングは得意。

(課題) 焦りやすく、衝動性が高い。自信がない。

何か言われるとぱっと反応し走るため危険。²³

当センターが行った支援

相談支援事業所、
就労移行支援事業所
の方が出席。

職業評価後のケース会議で、働くために必要なことを学び、自信をつけるため、**職業準備支援**の受講を提案。Aさんが希望し、受講。
(就労移行支援事業所との併用利用)



ポイントは以下の3点。

- ①作業支援を通じ落ち着いて作業することに慣れる。
- ②報告などの職場で必要なコミュニケーションについて、JST（職場対人技能トレーニング）で学ぶ。
- ③自分の特性と職場に配慮してほしいことをナビゲーションブックにまとめる。

ナビゲーションブックとは？

ナビゲーションブック

面接場面



就業場面



体験と
振り返り



気づき



自分の特徴
セールスポイント
職業上の課題
自己対処していること
企業に依頼する配慮等

本人が主体的に作成

企業にとっては雇用管理に役立つ
本人にとっては職場適応に役立つ

私の障害特性について

〇〇 △□

セールスポイント

- ・真面目にコツコツと取り組むことができます。よく明るいと言われます。

仕事について

- ・仕事ができていると思えるときは明るくがんばれます。
- ・注意をうけると、ガーンと落ち込んでしまいます。「どうしようどうしよう」とあわててしまうところがあります。その場で手を止めて、「お助けカード」を見て気持ちをおちつければ切り替えることができます。「だいじょうぶ」とか「おちついて」と声をもらえるとうれしいです。

対人面について

- ・人と話すことは好きなので、気軽に声をかけて下さい。ただし、長時間のおしゃべりをすると疲れる場合があるため、お昼休憩は一人で過ごせる場所があると助かります。
- ・顔は分かっているのですが、すぐに名前を思い出すことが苦手です。名札を見えるようにしてもらえると声がかかりやすいです。

その他（体調について）

- ・気持ちを落ち着かせる薬を毎朝服用しています。どうしても不安なときは頓服を飲むと30分ほどで落ち着けます。月に1回〇〇クリニックに通院しています。

ジョブコーチ支援の様子①



製造業C社を見学し、実習を行う。倉庫内作業。面接の結果採用となり、ジョブコーチ支援を開始。走らず安全に移動すること、注意や指摘を受けた時落ち着いて対処すること等について支援していたが…

Aさんの悩み①

「新商品のことが分からないから上司に確認したい。でも上司は忙しそう。自分で何とか探してみるけど見つからないとパニックになってしまう…」

⇒ジョブコーチが声かけのタイミングを実演し、真似してもらおう。上司がいない時の対応についてあらかじめ決めておき、職場と共有。

ジョブコーチ支援の様子②



Aさんの悩み②

「ミスを注意されると頭の中がパニック状態になってしまい、あわててしまう。何を言われたかよく分からない。早くやらないといけないと思い走ってしまい、また怒られて…」

- ⇒対処方法を相談。「ミスを指摘される＝否定される」ではなく、仕事を正確にしてほしいためであることを説明。具体的な対処方法として、注意を受けたあとは手を止め内容を聞き、メモを取ること、「お助けカード」を見て気持ちを落ち着かせ、気分を切り替えてから作業に戻ることを提案。
- ⇒併せて、事業所担当者には、注意するときに、Aさんの手を止め注意を向けてから、穏やかに簡潔に内容を伝えていただくよう依頼。



次第に落ちついて注意を受けられるようになり、安定して勤務。

気持ちを落ち着かせる手順書の例

「僕のお助けカード」



- ① ゆっくり息を吐く。ゆっくり息を吸う。その場でストレッチ。
(頭の中で (Aさんが大好きなアニメの主題歌) を思いうかべる)
- ② ○○さんがほめてくれたときのことを思いだし、
「だいじょうぶ、ふだんはできている」とつぶやく。
- ③ それでも落ち着かないとき
○○さんに声をかけ、食堂で10分休憩する (アラームをセット)
(スマホの待ち受けを見る。お茶を飲む。推しの動画を見る)
- ④ 10分休んでも落ち着かない時は内線を○○さんに入れる。
アイマスク、耳栓をして仮眠する。(アラームを20分セット)
- ⑤ ○○さんに「もう大丈夫です。ありがとうございました」と声をかけ
作業を始める。

相談支援事業所の方へのお願い

- 就労移行支援事業所等を利用している障害者の方で、一般就労にチャレンジしたい希望をお持ちの場合、就労移行支援事業所等に当センターの利用を提案するのも一案です。
- 当センターか、障害者就業・生活支援センターのどちらかに相談したらよいか迷われる場合は、いずれかの機関にお問い合わせください。

具体的なイメージを持つために

高齢・障害・求職者雇用支援機構のホームページで、発達障害者の雇用事例の動画を見ることができます。



● 本文へ

● サイトマップ | ● よくある質問 | ● お問い合わせ | ● English

文字サイズ変更 小 中 大 背景色変更 白 青 黒

サイト内検索 Google カスタム検索 検索

機構ホーム | 全国の施設 | 高齢者の雇用支援 | 障害者の雇用支援 | 職業能力開発の支援 | 機構について

現在位置: ● 機構ホーム > ● 障害者の雇用支援 > ● 各種資料 > ハンドブック・マニュアル等

ハンドブック・マニュアル等

障害者の雇用ノウハウに関する動画

(発達障害) とともに働く職場へ ～事例から学ぶ 発達障害者雇用のポイント～

初めて発達障害者雇用に取り組んだ事例や領域の拡大に取り組んだ事例、特性に配慮して職場環境を整えながら能力発揮に取り組んだ事例や発達障害の特性や強みをいかした職場づくりに取り組んだ事例など、実際の企業における発達障害者の雇用事例を通して、発達障害者ととともに働く職場をつくるための様々なノウハウについて紹介しています。

▶ 動画「ともに働く職場へ～事例から学ぶ 発達障害者雇用のポイント～」を見る

(精神障害) とともに働く職場へ ～事例から学ぶ 精神障害者雇用のポイント～

初めて精神障害者雇用に取り組んだ事例、雇用継続のために支援体制の整備やコミュニケーション面の配慮等を行った事例、休職した精神障害者の職場復帰に取り組んだ事例など、実際の企業における精神障害者の雇用事例を通して、精神障害者ととともに働く職場をつくるための様々なノウハウについて紹介しています。

▶ 動画「ともに働く職場へ～事例から学ぶ 精神障害者雇用のポイント～」を見る

障害者の雇用支援

- 障害者の方へ
- 事業主の方へ (障害者雇用)
- 障害者雇用の支援者の方へ
- イベント・啓発活動
- 障害者雇用助付金
- 助成金 (障害者雇用)
- 調査研究
- 各種資料 (障害者雇用)
 - ▶ 啓発誌「働く広場」
 - ▶ 助付金・助成金パンフレット
 - ▶ ハンドブック・マニュアル等

● 【地域関連】平成26年熊本地震関連情報

● 障害者雇用助付金制度の対象事業主が拡大されます

● 施設の新設・再編情報

HPアドレス

<http://www.jeed.go.jp/disability/data/handbook/index.html>

動画視聴
できます